

本文および表中の「不検出」とは、測定値が検出限界値未満であることを表します。

- 食品などの放射性物質の検査結果**
- 昨年度実施した、給食等の食品や水などの放射性物質の検査結果は、いずれも国または市が定める基準値以下でした。
- 内部被ばく検査**
 - ▼検体数 5百42件
 - ▼検査結果 基準値以下5百42件（うち不検出5百41件）
 - 加工食品**
 - ▼検体数 5百5件
 - ▼検査結果 基準値以下5百5件（うち不検出4百95件）
 - 水道水（市内十二万所の浄水場）**
 - ▼検査結果 不検出
 - 飲料用井戸水**
 - ▼検体数 百42件
 - ▼検査結果 不検出
 - 保育所・児童館プール水**
 - ▼検体数 41件
 - ▼検査結果 不検出

- 幼稚園、小・中学校プール水**
 - ▼検体数 百91件
 - ▼検査結果 不検出
- 勿来・四倉海水浴場の海水（本年五月調査）**
 - ▼検査結果 不検出
- 農作物の放射性物質の検査結果**

昨年度の農作物の放射性物質の検査結果は、出荷・販売用では国が定める基準値以下でしたが、自家消費用では基準値を超えたものがありました。基準値を超えた検体数はイノシシ肉が二百四件で最も多く、次はシイタケで八十五件でした。

 - 出荷・販売用農作物**
 - ▼検体数 6千8百76件
 - ▼検査結果 基準値以下6千8百76件（うち不検出6千8百50件）
 - 自家消費農作物**
 - ▼検体数 6千百24件

- お問い合わせ**
 - ・内部被ばく、甲状腺保健所総務課放射線健康管理センター ☎27・8560
 - ・保育所給食、保育所・児童館プール水 ☎22・7458
 - ・子ども支援課保育・教育係 ☎22・7458
 - ・小・中学校給食 学校支援課食育給食係 ☎22・7545
 - ・加工食品 保健所生活衛生課 食品衛生係 ☎27・8593
 - ・水道水 水質管理センター ☎22・2419
- 飲料用井戸水 保健所検査課 検査係**
 - ・幼稚園、小・中学校プール水 ☎27・8598
 - ・学校教育課指導係 ☎22・7542
 - ・海水浴場の海水 観光事業課 観光施設係 ☎22・7480
 - ・農作物 農業振興課 農業企画係 ☎22・7471
 - ・水産物 水産課 ☎22・7487

平成27年度環境等測定結果がまとまる
環境企画課環境保全係 ☎22-7441

昨年度における、市内の大気や水質など、環境状況に関する測定結果をお知らせします。

<p>空気の汚れ（大気）</p> <p>おおむね良好</p> <p>市内12カ所の測定局で24時間測定。光化学オキシダントについて、測定局で環境基準を超えた日がありましたが、全体および年間を通しては、おおむね良好でした。</p>	<p>水の汚れ（河川）</p> <p>良好</p> <p>市内19水域の28地点で測定。環境基準が設定されている10水域の全てと、重金属などの有害物質の測定を行った8地点全てで、環境基準を達成しました。</p>	<p>ダイオキシン類</p> <p>良好</p> <p>市内26地点の大気、水質などを測定。全地点で環境基準を達成しました。</p>
--	---	--

※詳しい測定結果などについては、市ホームページをご覧ください。

水産物の放射性物質の検査結果

昨年度の試験操作で水揚げされた水産物の放射性物質の検査結果は、基準値以下5千5百1件（うち不検出4千7百35件）、基準値超過6百23件

質の検査結果は、県漁業協同組合連合会が国よりもさらに厳しく定めた基準値を超えたものではありませんでした。

- ▼**検体数** 千30件
- ▼**検査結果** 基準値以下千30件（うち不検出千21件）

お知らせします 放射線の検査結果

市では、市民の皆さんの安全・安心を第一に、内部被ばく検査などの放射線健康管理対策や、いわき産農作物・水産物の安全確保と信頼回復に向けた放射性物質の検査などを行っています。

内部被ばく・甲状腺検査の結果など

○内部被ばく検査

ホールボディカウンターによる内部被ばく検査は、日常生活の中で、食事などを通じて体内に取り込まれた放射性物質の量を測定する検査です。

市が昨年度末までに実施した検査の結果、受検者の



内部被ばく検査の測定は2分間直立し静止した状態で実施

預託実効線量は、全員が1ミリシーベルト未満であり、健康に影響が及ぶ数値ではありませんでした（表1）。

本年度の内部被ばく検査は、総合保健福祉センターで実施しており、検査の対象地区などについては、順次、回覧などでお知らせします。

検査は無料で、検査結果は測定後すぐに分かります

その検査結果は（表2）のとおりです。

甲状腺検査は、対象者が二十歳を超えるまでは二回目に検査は、平成二十九年

〈表1〉内部被ばく検査結果（平成23年11月21日～平成28年3月31日）

受検者数	預託実効線量		
	1ミリシーベルト未満	うち不検出	検出
100,489人	100,489人(100.0%)	99,360人(98.9%)	1,129人(1.1%)

※預託実効線量は、体内から受ける内部被ばく線量の累積線量（成人は50年、子どもは70歳まで）。

〈表2〉甲状腺検査の結果

判定内容	該当者数	
	先行検査 (H27年6月末現在)	本格検査 (H28年3月末現在)
A判定 1判定 (結節やのう胞を認めなかったもの)	21,829人 (44.2%)	14,362人 (37.1%)
2判定 (5.0mm以下の結節や20.0mm以下ののう胞を認めたもの)	27,145人 (54.9%)	24,038人 (62.1%)
B判定 (5.1mm以上の結節や20.1mm以上ののう胞を認めたもの)	455人 (0.9%)	322人 (0.8%)
C判定 (甲状腺の状態等から判断し、直ちに二次検査を要するもの)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)
計	49,429人 (100.0%)	38,722人 (100.0%)